

関係者別の成果のハイライト

GetCheckedOnline：性感染症および血液媒介感染症の検査へのアクセス向上

 <p>患者</p>	<p>エンゲージメントの向上</p>	<p>GetCheckedOnline (GCO) を通じて検査を受けた人の 87% が、通常の診療所や医療機関を通じて検査を受ける場合に比べ、より早くかつ高い頻度で検査を受けていることを報告しています (n=789、定期通 GCO ユーザーを対象とした 2022 年の調査)。これは、プリティッシュコロンビア疾病管理センター (BC CDC) の地域性感染症 (STI) 診療所の利用患者 (n=19,497) との比較で、22% 高い検査頻度に相当します。またここでは、新規の性感染症および血液媒介感染症 (STBI) として、クラミジア、淋病、梅毒、HIV、C 型肝炎などの診断にも対応しており、これらは過去 3 年間の GCO での全検査の 6% を占めています。</p>
	<p>満足度の向上</p>	<p>2022 年の定期的 GCO ユーザーでの調査 (n=789)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 11% は、GCO で STBI 検査が利用できなかった場合は検査を受けなかったと回答しました。 32% は、安心して医療機関による検査を受けられるかかりつけの病院を持っていませんでした。 33% は、かかりつけ医や担当看護師を持っていませんでした。 52% は、検査が必要なときに医療機関による検査を受けるのは困難だと感じていました。 41% の被検者は、GCO を通じた STBI 検査により、給与面での損失、就学時間の短縮、交通費関連の経済的負担が軽減されたと報告しました。 97% の GCO 被検者は、サービスに満足していると報告しました。 88% は、本サービスを他人にも勧めることに強く同意しました。
	<p>医療の平等の強化</p>	<p>「GetCheckedOnline (GCO) は、STI の定期検査へのアクセスを望むユーザーにとって最適なオプションです。匿名での検査が認められており、恥ずかしいと感じている人や偏見に敏感な人、あるいは従来の診療所での直接診察に抵抗を感じる人に対して、検査を奨励することができます。オンラインのアカウントベースのサービスを使用することで、ユーザーは各自のレコードにある検査結果に迅速かつ簡単にアクセスできます。パートナーへの通知も簡単です。特に便利なのは仮名 (偽名) を用いて検査を受けられることです」</p> <p>- Lindsay Barton, 臨床看護師教育者、地域 STBI 診療所臨床予防サービス部門、プリティッシュコロンビア疾病管理センター</p>
 <p>臨床医</p>	<p>時間効率の向上</p>	<p>「定期的な検査を求めているユーザーにとって、GetCheckedOnline (GCO) は素晴らしいツールです。多くのユーザーは過去に検査を受けたことのある被検者であり、医師や看護師のサービスは必要といたしません。そのため、貴重で不足しがちな臨床医のリソースを解放して、より重要な STI ニーズを抱える患者、例えば性感染症の発症者や、HIV PrEP (曝露前予防) などの予防的ケアを求める患者への対応に集中することができます」</p> <p>- Natalie Holgerson, 臨床看護管理者、地域 STBI 診療所臨床予防サービス部門、プリティッシュコロンビア疾病管理センター</p>
	<p>医療資源利用の強化</p>	<p>フルタイム換算 (FTE) の看護師 1 人で管理可能な患者数は、GetCheckedOnline を介することで 10 倍以上に増加します (GetCheckedOnline での管理可能数は 3000 検査 / 月)。この値は、BCCDC の地域 STI 診療所での同等の看護時間での数 (300 検査 / 月) と比較したものです。</p>
 <p>医療制度 / 病院経営</p>	<p>品質の維持</p>	<p>GetCheckedOnline を通じて検査を行った患者 (n=257) の治療率 (99%) とパートナー通知率 (97%) は、BC CDC の地域 STI 診療所の受診患者 (n=514) と同等でした。したがって、臨床医 (および患者) の方々には、GCO によるケアの品質と治療への接続が対面形式での臨床サービスと比肩するものであること、またプリティッシュコロンビア疾病管理センターの提供する STBI 検査サービスの臨床品質や安全性に問題がないことをご理解いただけるはずです。</p>
	<p>医療費の削減</p>	<p>マイクロコスト分析の結果、GCO の利用の増加につれて、全体の検査コストが減少していることが実証されています。検査あたりのコストは、2019/20 年度 (2019 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日) の \$23.85 CDN から、2020/21 会計年度 (2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日) の \$16.00 CDN まで減少しています。これらのコストは、人件費、ソフトウェア開発費、トレーニング費、能力開発費、プロモーション費を含んだものです。</p> <p>2025 年 4 月から 2026 年 3 月までに、\$240 万 CDN の検査費用が回避されると見込まれています。GCO を介した検査来院の費用は、地域 STBI 診療所や同様の公衆衛生 STI 診療所での検査と比較して、平均 \$38.93 CDN 低く抑えられます。現在の稼働率の増加が維持された場合、2025/26 年度 (2025 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日) には 62,313 件の検査が実施されると予想され、同様の検査を性感染症診療所で直接実施する場合に比べ、\$240 万 CDN のコストが回避されます。</p>